



発行

社会福祉法人 山形県玉葉会  
 救護施設紅花ホーム  
 天童市大字成生1971番地26  
 0237(47)0241  
 HP <http://gyokuyokai.or.jp>  
 E-mail [kokahome@gyokuyokai.or.jp](mailto:kokahome@gyokuyokai.or.jp)



「就任にあたって」

社会福祉法人山形県玉葉会  
 理事長 後藤久彌

伊藤正志前理事長が昨年十月にご逝去されました。ご冥福を祈るばかりです。二支の組合せが一巡し、最初の干支に還ることです。当法人は今年、最初の干支

前理事長の残任期間は私が務めることになりました。四年半ぶりの復帰となりますが、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。甲子(きのえね)の年です。役職員一同、初心に還り先人達の福祉に対する強い思いを想起して、理想を高くもち、施設利用者とともに、明るく、安全、安心、安らぎのある環境を目指して、また、地域福祉の向上と社会貢献のために日々努力してまいります。

さて、当法人と紅花ホームは昨年、開設以来満六十年、めでたく還暦を迎えました。還暦とは六十種類ある十干十

伊藤正志理事長が逝去

令和三年十月三十一日、伊藤正志理事長が逝去されました。伊藤理事長は、平成十八年に当法人の理事に就任し、平成二十九年からは理事長として、法人発展のためにご尽力いただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

夏祭り(花火)



たくさんの花火!大迫力でした!!

お花見



満開の桜に皆さんにっこり!



今年度の事業から

秋祭り



何が出るかな?  
わくわく



逃げるな、にげるな

ヤッショー、マカショー、  
シャンシャンシャン

紅白レク



紅組、白組とも白熱した  
戦いでした!

紅葉散策



秋の醍醐味!!



クリスマス会



たくさん練習して、大成功!!



豪華なご飯で笑顔いっぱい!

令和三年度の事業も、コロナ禍のため旅行などが中止になり、また、ご家族やボランティアの皆さんなどをお招きできず、縮小した形での実施となりました。

日頃の活動から

チャレンジ班



はがき作り

わっくわーく班



ホーム内外の大掃除



ビニール袋と紙袋に分けるお仕事



委託作業

環境美化



みんなで草取り!

ゆうゆう班



ぬり絵や四季折々の装飾づくり



必要の方が  
おりました  
ら紅花ホーム  
までご連絡く  
ださい。

チャレンジ班では、平成二  
十八年から牛乳パックの再利  
用として、はがきを作ってい  
ます。昨年度からは天童市立  
図書館の催し等の際に、参加  
者プレゼントとして活用して  
いただいています。絵手紙など  
に最適です。



◆ありがとうございます◆

- ☆小南良子様
- ☆菊池さとみ様
- ☆乱川婦人会様
- ☆向原町内会様
- ☆天童市更生保護女性会様



陸上自衛隊神町駐屯地第20普通科連隊本部管理中隊福祉会様  
その他、たくさんのお菓子いただきました。

◆おめでとう◆

- ☆山形県民福祉大会会長  
(表彰)
- 一般社会福祉事業功労者  
主任看護師 村山真紀子  
技能士 鈴木明之
- ☆東北地区救護施設協議会  
永年勤続功労表彰(十年)  
支援員 鈴木優子

◆利用状況◆

- ▽令和三年十二月末日現在
- 定員一一五名
- 利用者数一一五名
- ▽令和三年七月～  
十二月末日現在

第三者評価

- 一時入所  
二名 延四十九日利用
- 体験入所  
利用なし

今回は新たに作成された救護施設版の評価基準による受審となりました。

各事業に渡って自己評価を行い、その後の集計で施設全体の課題や見直しポイントを明らかにしていきます。

利用者への聞き取りは、コロナ禍の感染対策の為、直接の聞き取り調査は出来ず、Zoomを利用したオンライン調査になる等、初めてのこともありました。無事終えることができました。

第三者評価をひとつのきっかけとして、今後も「利用者

満足」の向上に繋がるより良いサービス提供に務めていきます。

知りたいがいっぱい!

地域生活を希望する利用者の方に、幾つかある社会生活プログラムの中から選択していただき「自立訓練」を行っています。訓練は、自分自身の障がいの理解、自信を持つことの大切さ、社会資源と様々なサービスやサポートを利用する方法等を学び、社会参加することを目標に行っています。

一人ひとりが目指す地域生活のあり方は違いますが、実現に向けて支援しています。



利用者作品紹介



置物

編集後記

一時は流行語にもなった断捨離。個人的には年末の大掃除や年度変わりの時期に何かと頭をよぎる言葉になっています。

施設では感染対策物品の在庫を二週間と定め対策していますが、保管場所には限りがあるので、物の整理が必要になっていきます。買った方がいいが、そんなに使わないもの、埋もれているもの等々。共用物品だけに個人の断捨離とは違い、処分するにも一苦労という感じです。(yk)

※写真・氏名等は、ご本人の承諾を得て掲載させて頂いております。  
印刷 傑文昇堂印刷 023(686)5105